



るんるんるーむだより

はな組 R8.1.1

あけましておめでとうございます

2026年新しい年が始まりました。お正月はご家族で楽しく過ごされたことだと思います。今年も子ども達の成長や笑顔がたくさん見られるよう、ご家庭と共有しながら、日々の成長を見守っていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

はな組の子どもたちは、靴下や靴を自分で履こうとしたり、ジャーのファスナーを上げようとしたりと「自分でやりたい」という気持ちが芽生えてきました。また「見通しをもって行動する」ことが少しずつ習慣になりつつあり、大人の声かけで自ら動く場面も増えてきています。今月は、この「見通しをもって行動する」ために、園で意識していることや工夫していることをお伝えします。



1つめ・・・毎日同じルーティンで過ごす。

園では、毎日同じ生活リズムで過ごしています。それだけでなく、「外へ行くときの準備」「戻ってきてからの支度」「食事前の準備」など様々な場面でも同じ流れを意識して支援しています。

(具体的な流れ)

外へ行くとき・・・靴下を履く→帽子をかぶる→ジャーを着る→靴を履く

戻ってきたとき・・・帽子、靴下を脱ぐ→ジャーを脱ぐ→手を拭く→お茶→排泄

食事の前の支援・・・エプロンを付ける→袖をまくる→口の周り、手を拭く（左手から拭きます）→挨拶
この流れを、毎日繰り返すことで、「次に何をするか」が分かり、見通しをもって自分から行動できるようになります。「次に何をするのか」が分かることで安心して行動でき、心の安定にもつながるようです。また、**生活のリズムが整う**だけでなく、「**自分で考えて動く力**」の土台にもなるため、大切にしています。

2つめ・・・準備する場所を決める。

園ではいろんな場所に「待ち椅子」を設置しています。同じ場所で同じことをすることで「ここは〇〇をする場所」という認識ができ、その場所に合った行動が取れるようになります。

3つめ・・・自分から動けたときは褒める。

見通しをもって行動できたときは、褒めるチャンスです。「すごいね。自分でできたね」「靴下履けたね」など、具体的に言葉にして褒めています。褒められることで「次もやってみよう」という意欲に繋がっていくようです。一方で、イヤイヤ期真っただ中の子ども達。できないと泣いてしまったり、やりたくないという気持ちが出たりする様子も見られます。そのようなときは、子ども達の気持ちを受け止め、様子を見ながらゆっくり進めています。



9日(金)避難訓練
15日(木)身体測定

